

社会全体で共有する緊急度判定（トリアージ）体系のあり方検討会

報告書骨子案

1. 検討の経緯
 2. 緊急度判定（トリアージ）が必要となった背景
 3. 海外における緊急度判定について
（イギリス、フランス、ドイツ調査報告）
 4. 救急の各段階における緊急度判定について
 - 各段階で共通する緊急度判定の考え方（カテゴリーの定義）
 - 家庭、電話相談、119 番、救急現場
 - セーフティネットの必要性
 - 緊急度の低い傷病者への対応（課題）
 5. 緊急度判定（トリアージ）を実施するために必要な体制の確保
 - メディカルコントロールのあり方
 - 救急隊員・通信指令員に対する教育
 6. 緊急度判定（トリアージ）普及促進のあり方
 7. 実証研究の進め方について
- （参考資料）
- 各段階の緊急度判定プロトコール暫定案（ver.0）
 - 海外実態調査報告書